

アントニオ・グテーレス国連事務総長メッセージ
「女性及び女児を COVID-19 への対応の中心に」

(2020 年 4 月 9 日、仮訳)

COVID-19 のパンデミックは、あらゆる場所で、あらゆる人々に影響を与えています。そして、異なる集団ごとに異なった影響を与え、既存の不平等を深めています。

初期データは、COVID-19 による死亡率は男性の方が高い可能性を示しています。しかし、このパンデミックは女性と女児に対しても壊滅的な社会的・経済的影響を与えています。

本日、私たちは、これまでジェンダー平等と女性の権利が得てきた限られた進歩を、COVID-19 がどのように覆し得るかを示し、女性のリーダーシップと貢献を、回復と復興の中心に据える方法について提言を行う報告書を発表します。

世界の女性の 60% 近くがインフォーマル経済で働いており、収入が少なく、貯蓄も少なく、貧困に陥るリスクが高くなっています。市場が下落し、企業が閉鎖されるにつれ、何百万人もの女性の職が失われています。

女性が有給の職を失うのと同時に、学校の閉鎖や高齢者のニーズの増加の結果、女性の無償労働が飛躍的に増加しています。こうした状況が今までになく絡み合っ、女性の権利を無にし、女性の機会を奪っています。

失われた進歩は、取り戻すのに何年もかかります。学校を締め出された 10 代の女性は、二度と学校に戻れないかもしれません。

私は、各国政府に対し、女性及び女児を COVID-19 への対応に向けた取組の中心に据えるよう強く要請します。

それは、女性がリーダーとして、平等な代表権と意思決定権を持つことから始まります。現金給付からクレジットや融資に至るまで、経済を保護し、刺激するための措置は、女性が対象とされなければなりません。社会的なセーフティネットが拡充されなければなりません。無償ケア労働が、経済への極めて重要な貢献として認識され、評価されなければなりません。

このパンデミックはまた、女性に対する暴力の恐るべき増加につながっています。世界では、およそ 5 人に 1 人の女性が、過去 1 年間に暴力の被害に遭っています。これらの女性の多くは、現在、自宅で加害者と一緒に閉じ込められ、停止や制限に陥っているサービスに何とかアクセスしようと奮闘しています。

これが、私が今週初めに各国政府に対し、女性を保護し、支援サービスを拡充するための緊急措置をとるよう求めたことの根拠でした。COVID-19 は世界の医療システムへの挑戦であるだけでなく、私たちに共通する人間性を試しているのです。

ジェンダー平等と女性の権利は、このパンデミックを共に切り抜け、より早く復興し、全ての人にとってより良い未来を築くために必要不可欠なのです。